

令和3年度
三好市歴史的風致維持向上計画
(進捗評価シート)

三好市

令和3年度進捗評価シート
三好市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年4月1日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1	
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2	
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物保存修理事業	3	
登録有形文化財「山下家別邸」保存修理事業		
2 重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業	4	
文化財の保存・修復と活用事業		
3 歴史的建造物等の公開及び活用事業	5	
歴史的建造物空き家相談事業		
4 茅葺屋根葺き替え資材確保事業	6	
祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業		
5 景観整備事業	7	
6 無電柱化事業(池田町及び井川町「うだつの町並み」)	8	
7 祖谷の蔓橋架け替え継承事業	9	
茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業		
祖谷石積み工法継承事業		
8 重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業	10	
伝統行事担い手支援事業		
9 急傾斜地農業継承事業	11	
10 佐野集落文化遺産総合調査	12	
歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動		
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用・修理(整備)について	13	
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	14	
文化財周辺の環境保全について		
文化財の普及・啓発について		
3 文化財の防災について	15	
埋蔵文化財の取扱いについて		
文化財行政の体制について		
各種団体の状況について		
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 巨木が囲む神秘的空間 ほか	16	
2 西日本宝くじ図柄祖谷のかずら橋採用 ほか	17	
3 児童、サギソウ植え付け ほか	18	
4 3件国登録文化財 ほか	19	
5 古文書など分野別紹介 ほか	20	
6 東祖谷の雑穀「味の箱船」登録 ほか	21	
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光入込客数の推移	22	

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
●計画調整担当部署と事業担当部署の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●計画調整担当部署と事業担当部署の連携
 ・計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されている。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会は書面会議とした(令和3年5月10日～同年5月25日の間)。三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会は令和3年10月8日に地元委員のみで現場開催し案内看板について意見を伺った。三好市文化財保護審議会は令和4年3月11日に通常開催し令和3年度の三好市歴史的風致維持向上計画第2期について事業内容等の説明を行い意見を伺った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画も3年目が終わり計画に基づき事業に順次着手し、関係担当部署と連絡調整等を行っているが、これまで同様に事業(建築及び土木工事)によっては歴史的風致に問題が生じてしまうものも少なくない。当計画の目的や最終的な目標について理解してもらい実効性のあるような協力体制を整えていく。

状況を示す写真や資料等

【三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催】

○開催日 R3. 5. 10から5. 25の間、書面会議を開催。 ○主な議事 ・令和2年分の事業の進捗状況について
 ・令和3年度分の事業について

【三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催】

○開催日 R3. 10. 8 ○主な議事 ・保存地区案内看板の設置について



【三好市文化財保護審議会の開催】

◎開催日 R4. 3. 11 通常開催
 ○開催場所 池田中央公民館
 ○主な議事 ・三好市文化財指定、調査について・令和3年度事業報告について・令和4年度事業計画(案)について
 ・三好市歴史的風致維持向上計画第2期について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
●景観計画の活用と景観条例の運用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●景観計画の活用と景観条例の運用

・本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、平成23年3月「景観計画」の策定、同年6月に「景観条例」の制定、平成24年4月1日に景観条例を施行した。その後、景観パンフレット作成、建築関係業者説明会開催など景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催や、景観計画区域内で工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定した。景観重点区域である祖谷地区では、重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」で、これまで景観改善事業として令和2年度まで20件の修理修景を行ってきた。令和3年度は修理修景案件はなかった。令和2年度からは重要伝統的建造物群保存地区周辺地区外においても、景観改善を図るために赤や青のトタン屋根を古色系(茶色)で統一するための補助事業を整備し、令和3年度は2件の修景(屋根塗り替え)を行った。

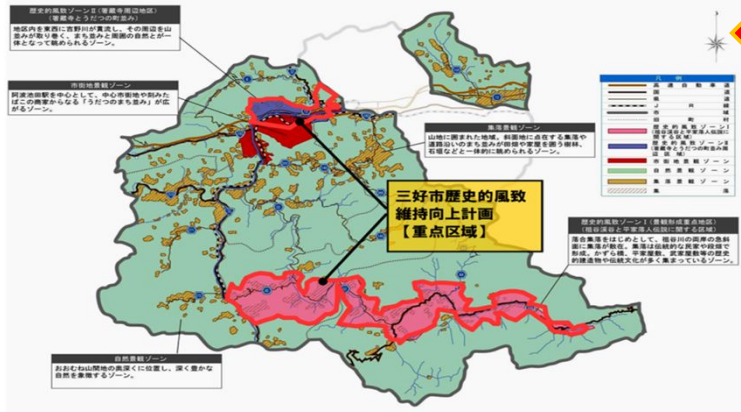
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為を外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等



三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「吉野川支流祖谷川流域祖谷地区」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「吉野川中流域池田町及び井川町地区」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。

【三好市景観計画書(平成23年3月)】



【三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)】

【重要伝統的建造物群保存地区周辺の屋根塗り替え事業】

修景前

修景後



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物保存修理事業 ● 登録文化財「山下家別邸」保存修理事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)		
計画に記載している内容	・歴史的建造物保存修理事業/歴史的建造物の保存・活用を図るために、空き家となった町屋等を取得又は借り上げのうえ修理修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。 ・登録文化財「山下家別邸」保存修理事業/井川町の町並みにある、登録有形文化財「山下家別邸」を購入し、修理修景を実施し保存及び活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的建造物保存修理事業 ● 登録文化財「山下家別邸」保存修理事業 ・歴史的建造物保存修理事業として、市指定文化財「真鍋家住宅」の修理計画を策定し令和4年度より事業を行う。 ・三好市歴史的風致維持向上計画(第2期)において、令和元年度に公開活用のための設計を行い、令和2年度に工事を行い、令和3年度より地元団体である辻まち活性化協議会が産直市や食堂として活用し賑わいを見せている。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	三好市歴史的風致維持向上計画(第1期)からの計画事業であった登録文化財「山下家別邸」は、令和2年度に公開活用に伴う工事を行い令和3年度より活用を開始。今後、井川町辻の交流拠点施設としてより多くの活用を図る必要がある。また、他の歴史的建造物についても「山下家別邸」と同様に保存修理と併せて活用方法を考えていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

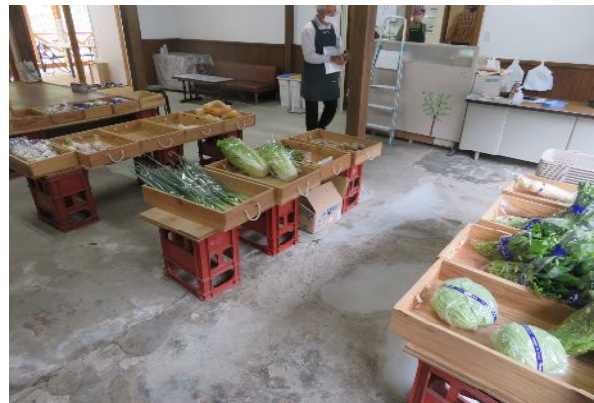
【市指定文化財「真鍋家住宅」】

令和4年度より修理を行う西門



【登録有形文化財「山下家別邸」】

産直市の様子



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業 ●文化財の保存・修理と活用事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	・重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業/重要有形文化財「祖谷の蔓橋」の保存・活用を図るために、3年に1度の架け替えを行う。また中期では、部分的な修繕を行う。 ・文化財の保存・修理と活用事業/経年劣化による破損がみられる指定文化財等の適切及び定期的な保存修理を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ●重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」保存修理事業 ●文化財の保存・修理と活用事業 ・昭和3年に復元修理が行われ、昭和30年に重要有形民俗文化財に指定されてからは、3年に1度の架け替えが実施され保存及び活用がされてきた。令和3年度は架け替え後の年であり、大きな傷み等は見られなかったため修繕等は発生していない。 ・指定文化財の修理として、市の補助制度を活用し市指定有形民俗文化財1件、市指定文化財(建造物)1件の修理を実施した。また令和3年度より災害等による緊急性の高い文化財の修理に対応するため、災害等修理補助金の予算措置を行った。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・「祖谷の蔓橋」の架け替えに必要な材料となるシラクチカズラ約6tの確保が祖谷地区において困難な状況となっている。こうした状況を踏まえ、今後も引き続き国有林や民有林を有する関係者と蜜に連携し確保に努める。 ・近年の異常気象により今回のような災害による修理が多くなると考えられる。こうした状況から災害修理費補助金の予算措置を行い迅速に対応していく。また、それに伴いワークショップを開催し技術者の能力の向上の場や学校教育における総合学習の場としても活用していく。		
状況を示す写真や資料等			

【市指定有形民俗文化財「徳善のからくり襖絵】

令和2年9月10日台風による舞台崩壊

令和3年10月1日～22日かけて修理を行い、11月16日に襖絵を差し込み披露



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
●歴史的建造物等の公開及び活用事業 ●歴史的建造物空き家相談事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	・歴史的建造物等の公開及び活用事業/指定文化財の建造物を維持管理しながら、地域住民や来館者に公開し、イベント等による公開事業を実施する。 ・歴史的建造物空き家相談事業/指定・登録・選定を受けている歴史的建造物は、少子高齢化に伴い空き家が増加し多くの所有者が保存活用に頭を悩ませている。こうした状況から空き家相談窓口の設置や空き家相談会を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●歴史的建造物の公開及び活用事業について
 令和3年度に公開活用されている指定文化財建造物は下記15件。選定文化財(重伝建)では9件。登録文化財では2件。
 ・市指定文化財「真駒家住宅」・「馬宮家薬門」・「西岡家住宅」(市指定文化財建造物3件中3件とも公開)
 ・県指定文化財「川人家薬門」・「阿住家住宅」・「善慶寺観音堂」(県指定文化財建造物3件中3件とも公開※一部内部は非公開)
 ・国指定文化財「木村家住宅主屋及び隠居」・「小栗家住宅」・「善慶寺本殿他5棟」・「徳善家住宅」(国指定建造物9件中9件とも公開※一部内部は非公開)
 ・国選定文化財「重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」公開住宅「長岡家住宅」他8棟(公有施設のみ公開)
 ・国登録有形文化財「山下家別邸」・「古本家住宅」(山下家別邸は調理体験室、多目的室として公開。古本家住宅は外観のみ)
 ※国指定文化財「徳善家住宅」では、観光課と連携し祖谷地区モニターツアー(人数制限3名)に組み込み見学会を行った。(令和3年度は3回実施。)
 ※国登録有形文化財「古本家住宅」では、平成30年の登録後初めての内部の見学会(人数制限あり)を実施。約10名が参加。
 ●歴史的建造物空き家相談事業について
 相談会は実施できなかったが、井川町地区においては地元団体「住まこ座団」が3年前に発足され町の活性化を図るため、空き家の修理や活用について相談を受けている。令和3年度の相談は2件(山下家北棟・菅我家住宅)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各指定建造物は、外観からの見学等については概ね公開できているが、内部については空き家であったり、生活空間として現在住まわれている等の理由から公開していない建造物が多くある。これらの建造物については近年における文化財の公開に対する社会的なニーズの高まりなどの背景や、文化財の確実な次世代への継承について、所有者に理解や協力を求めイベント等による限定的な公開が行えるよう努めていく。

状況を示す写真や資料等

【国登録有形文化財「古本家住宅」】

池田町佐野地区にある「古本家住宅」見学会の様子



【重要文化財「徳善家住宅」】

祖谷地区にある「徳善家住宅」モニターツアーの様子



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度
	令和3年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●茅葺屋根葺き替え資材確保事業 ●祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 ・茅葺屋根葺き替え資材確保事業/重点区域である祖谷地区には15棟の茅葺屋根建造物があり、これらの茅葺屋根維持管理のための茅(スキ)の確保を実施する。
 ・祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業/重点区域の祖谷地区にある「祖谷の蔓橋」は、3年に1度の架け替えが行われている。材料であるシラクチカズラは1度の架け替えで約6t必要であるが、近年は採取できるシラクチカズラは減少傾向である。20年後から30年後の資材確保のため、人工による苗木づくりから山林への植樹活動を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●茅葺屋根葺き替え資材確保事業
 ・茅葺屋根葺き替え資材確保として、令和3年度は重点区域である重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」内にある茅場及び「ふるさと文化財の森 京柱峠」にて、地区保存会と茅刈りを11月に行い、コエグロにより乾燥させている。(令和4年5月に5尺締めにし茅倉庫に移す)
 ●祖谷の蔓橋架け替え資材確保事業
 ・蔓橋の資材確保として、苗木づくりを実施。苗木づくりには地元中学生にも参加していただいた。
 開催日:令和3年7月19日 会場:祖谷ふれあい公園 参加児童生徒数:13名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・茅材の確保について、茅場は2箇所(重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」、京柱峠茅場)があるが、高齢化により作業する者が減ってきており、2箇所の茅刈りが困難となってきている。今後は人材の確保(茅刈り体験会等)も併せて考えていく。 ・蔓橋の資材確保について、苗木づくりでは普及啓発も含め効果が出ているが、20年から30年後の資材確保のための植樹については足りていない。今後は植樹箇所を増やし確保及び管理について計画を立てる。
--	---

状況を示す写真や資料等

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」での茅材確保】

茅刈りの様子



コエグロによって乾燥



【重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の材料であるシラクチカズラ苗木づくり】

約300株の苗木づくりの様子



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
●景観整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	山村集落やうだつの町並みに見られる、伝統的建造物の周辺景観との調和のために行う修景に要する経費の一部を助成。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●景観整備事業 重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張替えに対する助成を行い、景観の改善を図った。令和2年度までは46件91棟の塗り替えを行い、令和3年度は3件3棟を行った。また、令和2年度より伝建地区周辺(落合地区に限る)の建造物に対しても、同様の事業を行い令和3年度は2件2棟を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		景観に配慮した屋根の塗り替えが順次進み、効果が表れているが、地区内の国道沿いは塗り替えを終えていない建造物が残っている。今後、所有者や管理者に景観の向上や魅力度の向上等多くの向上効果が得られることを説明し、理解や協力を求めていく取り組みが必要。	

状況を示す写真や資料等

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」】

屋根塗り替え前

屋根塗り替え後



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
●無電柱化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	池田町及び井川町のうだつの町並みにおける景観再生を図るため、景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道・歩道・側溝等についても町並みに調和した美装化整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●無電柱化事業 ・池田町及び井川町のうだつの町並みの景観再生として、無電柱化について意見は出るが道路幅が狭く埋設物も多い理由等で進捗していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		引き続き無電柱化推進体制の構築について検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			

【池田町 うだつの町並み】



【井川町 うだつの町並み】



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●祖谷の蔓橋架け替え継承事業 ●茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業 ●祖谷石積み工法継承事業 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 各伝統的工法の継承によって、文化財の保護を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 祖谷の蔓橋架け替え継承事業
- ・令和3年度は祖谷の蔓橋の材料シラクチカズラの苗木つくり併せて、蔓橋の歴史や架け替え等について、地元小中学生に出前授業を行った。開催日：令和3年7月19日 参加児童生徒数：13名
- 茅葺屋根保存団体の設立及び継承事業
- ・令和3年度は継承事業として茅葺屋根保存団体で昨年計画した重要文化財「木村家住宅」の屋根修繕を行った。
- 祖谷石積み工法継承事業
- ・令和3年度では、実施できなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各事業、高齢化に伴う後継者不足が一番の課題となっている。今後も引き続き地元の若い方への協力と理解を求める。また教育としても地元小中学生への啓発活動に取り組む。

状況を示す写真や資料等

【重要無形民俗文化財「祖谷の蔓橋」

地元のガイド団体による「祖谷の蔓橋」の歴史や架け替え等について説明を受ける地元中学生



【重要文化財「木村家住宅」

部分的な腐食箇所について、修繕を実施



棟押さえ部



隅部



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業 ●伝統行事担い手支援事業 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	少子高齢化に伴い踊り手や担い手不足が深刻化していることから、地域内外から伝統行事の担い手として高い志をもった人材を募るなど、支援事業を行い、伝統行事の継続を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<ul style="list-style-type: none"> ●重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」継承事業 ●伝統行事担い手支援事業 ・重点区域の祖谷地区にある善徳天満宮で、重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」が毎年旧暦6月25日に奉納されている。近年は高齢化による踊り手不足から、地元小学生達に総合学習の一貫として練習から本番まで参加していただいている。令和3年度もコロナ禍であることから神代踊りは中止となったが、令和4年度の本番に向けて保存会指導のもと練習を行った。開催日：令和3年6月24日・7月1日、8日 練習会場：椋生小学校 参加児童数：7名			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	少子高齢化、都市部への移住等により西祖谷山村の人口減少は著しく、担い手の育成が大きな課題であるが、今後も引き続き地元小学校等と連携し保存と伝承の推進に取り組んでいく。		

状況を示す写真や資料等

【重要無形民俗文化財「西祖谷の神代踊」】

保存会の方々からの指導を受ける地元小学生



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
●急傾斜地農業継承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和9年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域である祖谷地区において、急傾斜地農業の担い手不足が深刻化している。急傾斜地を利用し作られる農作物は独自のものがあることから、こうした農業の伝統技術を移住者や、地元小中学生に体験及び継承し技術の維持及び保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
●急傾斜地農業継承事業 ・重点区域である祖谷地区において、祖谷在来種の保存と伝承の推進として、地元保存団体「祖谷雑穀生産組合」が耕作放棄地を活用してヤツマタ、稗、蕎麦の植え付けを行った。ヤツマタについては、植え付けから収穫まで地元小学生に体験学習として参加していただいた。開催日：令和3年10月18日 会場：梅の峰共同圃場 参加児童数：4名 各種収穫後は、事業継続のために「食文化の継承」として、ブランド商品の開発も行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		少子高齢化、都市部への移住等により人口減少は著しく、担い手の育成が大きな課題であるが、今後も引き続き地元小学校等と連携し保存と伝承の推進に取り組んでいく。	

状況を示す写真や資料等

【祖谷雑穀生産組合による急傾斜地の畑づくり】

収穫体験の様子



脱穀体験の様子



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●佐野集落文化遺産総合調査 ●歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動 			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和9年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内全域の歴史的文化遺産の掘り起しと保存、継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐野集落文化遺産総合調査
 ・重点区域である池田町佐野地区は、四国遍路として平成26年に雲辺寺道が国の史跡として指定、平成30年には地区内にある建造物5件が国の登録文化財に登録された。令和元年には地元住民により歴史散策案内板が設置された。令和3年度は散策マップの作成を行った。
 ●歴史的文化遺産の掘り起しと保存・継承活動
 ・市内全域において、名勝調査事業を行った。令和3年度は有力な候補地として吉野川中流域38箇所、祖谷川流域22箇所の悉皆調査を行った。委員会開催日：第1回令和3年6月17・第2回令和4年2月17日 参加者数：第1回14名・第2回12名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市民の文化財に対する意識は、高まってきているが、まだまだ十分に調査研究(掘り起し)が出来ていないのが現状であり課題である。名勝調査事業のような市内全域をフィールドとした事業や、佐野地区のようにマップの作成にとりかかることで、地域の歴史や文化の新たな掘り起こしに繋がることから、積極的に事業を進めていく。

状況を示す写真や資料等

【佐野集落文化遺産総合調査】

佐野集落案内マップ作成に伴う聞き取り調査の様子



佐野集落案内マップ



【名勝調査事業】

現場視察



名勝調査委員会



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について ●文化財の修理(整備)について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。
- ・指定、登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。
- ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。
- ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用について
- ・各指定文化財等の公開等を行った。(P4、P5参照)
- 文化財の修理(整備)について
- ・各指定文化財の修理を行った。(P4、P9参照)

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

各文化財の保存活用を実施するにあたり、協議が必要となる事案が多く時間を要するため、人的資源不足が出てきていることが課題となっている。今後は、効率的な事業執行のため、平成31年4月1日に施行された文化財保護法改正に伴って、地域における文化財の保存及び活用を総合的かつ計画的に行うことができるよう創設された「文化財保存活用地域計画制度」による計画策定を視野に入れ、地域社会総がかりによる、文化財の保存及び活用を行う。また市単独事業として、文化財の活用及び人材育成のため「三好市文化財講座」を令和3年度より3カ年行う。

状況を示す写真や資料等

【三好市文化財講座】

文化財講座の様子



現地研修の様子



2021 三好市文化財講座
第1期「基礎講座(入門編)」受講生募集

目 的 三好市の歴史・文化についての専門的な内容を講座を開催し、文化財の保存と活用の在り方を学び、その実現のための人材養成を目的とします。

受講期間 令和3年度から令和5年度までの3年間(3期)にわたる講座で、各期5講とし、全15講の受講を原則とします。各期の途中で参加、テキストの配付は行いません。

学習形態 講義形式。使用するテキスト・教材本(相谷山研究会事業部発、非売品)は初回の講座で配付します。

受講料 無料

受講者 どなたでも

講 師 三好市文化財保護協議会 会長 下川 清氏

会 場 中央公民館 4階大ホール

開催日時 次のとおり

期	開催日時	講座内容
1	6月25日(金) 13:30~	開講式 第1講「ふるさとからみる文化財」 ―三好市域の歴史文化財―
2	8月27日(金) 13:30~	第2講「女史園と法」 ―文化財の基礎知識―
3	10月29日(金) 13:30~	第3講「文化財の保護」 ―三好市域の歴史と文化―
4	12月17日(金) 13:30~	第4講「大塚に伝わる伝説」 ―歴史と大塚地蔵寺―
5	2024年 2月25日(金) 13:30~	第5講「歴史の謎」 ―ふるさと歴史館の歴史について― 第1回研修会

当日申し込みは、お申し込み要する場合があります。
 ※三好市域にわたるの開催が予定されている講座、参加費が別途決められる講座、また、種別が異なる講座、開催が中止となる場合があります。

お申し込み期限 令和3年5月31日(月)まで
お申し込み先 お問い合わせ先
 三好市教育委員会 社会教育課
 TEL:0883-72-3910 FAX:0883-72-3916

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について ●文化財周辺の環境保全について ●文化財の普及・啓発について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。
- ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。
- ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。
- ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用を行うための施設について
- ・指定文化財、登録文化財等を公開や交流施設として活用を行った。(P5参照)
- 文化財周辺の環境保全について
- ・重要伝統的建造物群保存地区「東祖谷山村落合」環境整備として茅刈りを行いコエグロ作りを実施し、歴史的風致保全の取り組みを行った。
- 文化財の普及啓発について
- ・市内にある178件の指定及び登録文化財を多くの方々に知ってもらい、今後の保存と活用のための人材育成事業として「三好市文化財講座」3ヵ年計画を策定。(P13参照)
- ・重点区域である「池田町佐野地区」の歴史等をお遍路の方をはじめ来訪者に、より知っていただくためマップの作成を実施(P12参照)
- ・西祖谷地区において、地元中学生(9名)に令和元年度に重文指定された「徳善家住宅」をはじめ、近隣にある文化財の見学会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内に点在する指定及び登録文化財は、平成22年度に歴史的風致維持向上計画(第1期)の認定時より、およそ60件増加し、全体で178件(指定122件・登録56件)となった。これらを今後保護及び活用するための人的資源の不足が課題。どのような保護及び活用をしていくべきか全体計画の策定が必要。そのための人材育成や普及啓発を図るため、指定文化財を活用したセミナー、ワークショップ、モニターツアーの3本を積極的に実施する。
--	---

状況を示す写真や資料等

【西祖谷山村徳善地区にある各文化財の見学会】

重要文化財「徳善家住宅」



市指定文化財「徳善からくり模絵」



国登録文化財「有宮神社」



【重要伝統的建造物群保存地区「東祖谷山村落合」地区内案内看板設置】

地区内分岐点5か所に案内板を設置



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の防災について ●埋蔵文化財の取扱いについて ●文化財行政の体制について ●各種団体の状況について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・三好市地域防災計画に基づき、消防本部、各地区消防団及び自主防災組織を連携させ、文化財等を災害から保護することを推進する。
- ・包蔵地について、所在、範囲、現況を適切に把握し、関係事業課、開発事業者に埋蔵文化財の保存と保護についての啓発を推進する。
- ・三好市文化財保護審議会、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し保存の重要事項の審議を行い、行政部局に学芸員等専門的な職員配置を検討する。
- ・担い手不足である無形の民俗文化財等保存団体に対して、組織運営補助や用具の整備支援を行い、組織の維持と担い手の育成及び基盤整備の支援を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の防災について
- 市指定文化財「西岡家住宅」において、自動火災報知器を設置。
- 埋蔵文化財の調査について
- 令和3年度は21件の開発行為(一般住宅建築等)により発掘届が提出され、試掘が行われたが遺構・遺物は確認されなかった。
- 文化財行政の体制について
- 令和3年度は三好市文化財保護審議会を1回開催(令和4年3月11日)・三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会を令和3年10月8日に開催し、審議を行った。
- 保存・活用に関わる各種団体について
- 文化遺産を活かした地域活性化事業として、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続を行った。(18団体)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・指定文化財等の防災設備の設置について、補助制度は設けられているが設備の設置が整っていない物件は多くある。そのため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要。 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方策を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。そのために文化財保護法改正による文化財保存活用地域計画制度の地域計画策定を視野に入れた体制構築を進める。 ・埋蔵文化財は、土地所有者をはじめ関係事業課及び関係事業者の理解を得るのに時間がかかる。埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちがわかる歴史的財産であることを理解してもらい、関係者の協力を得るための継続的な働きかけが必要。
--	--

状況を示す写真や資料等

【指定文化財への自動火災報知器等設置の実施】

市指定文化財「西岡家住宅」火災報知器の設置



評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
巨木が囲む神秘的空間	R3.4.11		徳島新聞
史跡巡り山城をPR	R3.5.1		徳島新聞
大歩危峡の環境保護訴え	R3.5.8		徳島新聞
オンツツジ満開黒沢湿原彩る			

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・歴史的風致エリアである池田地区の重点区域にある善蔵寺が、ドローンを用いた撮影で建造物を囲む樹木群を含んだ雄大な姿が紹介された。
- ・歴史的風致エリアである大歩危小歩危地区において、「山城戦国国ざかめぐりの会」が地域の魅力の発信発信や、次世代への継承のために、ガイドブックの作成やウォーキングコース等のイベントを行った。
- ・歴史的風致エリアである大歩危小歩危地区において、「山城戦国国ざかめぐりの会」が、清掃活動やオリジナルグッズ販売による募金活動が行い大歩危峡の環境美化に貢献。
- ・歴史的風致エリアである池田地区にある県指定天然記念物「黒沢湿原」において、「黒沢湿原を守ろう会」が環境保全に取り組み今年も湿原はオンツツジが満開。多くの来訪者は散策に訪れた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【巨木が囲む神秘的空間(令和3年4月11日)】



【史跡巡り山城をPR(令和3年5月1日)】



【大歩危の環境保護訴え(令和3年5月8日)】

大歩危峡の環境保護訴え

三好市山城町の住民団体「山城戦国 国ざかめぐりの会」が、大歩危峡の歩道の美化を進めている。オリジナルグッズを作り、活動資金の募金も呼び掛けている。

「BOOKS EN PROJECT」と名付け、歩道清掃や大歩危峡の種やフオドスポットを紹介する板を製作している。ごみ拾いは週1回ほどで、山城町の観光復元施設「ウエスト・ウエスト」から観光施設「大歩危峡まんなか」までの約3キロで行っている。

このほか、オリジナルのストラップを作り、募金を呼び掛けている。紙粘土を木の形にカットし、ヒノキの葉を貼り付けている。山城町内のカフェを5カ所別に募金箱と一緒に置く。1個10

グッズ作り活動資金募る



大歩危峡の環境保護を呼び掛けるストラップ
—三好市山城町 西宇

0円以上を希望している。始めたのがきっかけ。回収箱の設置や、橋本長は「看板やストごみの処理費用に充て、ラップがごみ削減の発見につながらず、大歩危のフロンティアは、橋本 きれいな環境のために」美保会長(50)が昨年4月に募集した。1ヶ月から1年以内の間に募集した。(山村雅)

【オンツツジ満開黒沢湿原彩る(令和3年5月8日)】



鮮やかな花を咲かせたオンツツジ
—三好市池田町漆川の黒沢湿原

オンツツジ満開
黒沢湿原彩る

三好市池田町漆川の黒沢湿原でオンツツジが満開になり、真っ赤な花が湿地を彩っている。見頃は20日まで。遊歩道沿いの池田町漆川に、5月5日、5月6日は例年より1週間ほど早いため、開花は例年より1週間ほど早い。訪れた人は写真撮影したり、ベンチで弁当を食べたりして春を満喫し、花の満開を満喫していた。

湿原の保護に取り組む「黒沢湿原を守る会」の内田会長(77)は「きれいな花の中で散策を楽しんでほしい」と話した。(山村雅)

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
西日本宝くじ図柄祖谷かずら橋採用	R3.5.12		徳島新聞
祖谷の秘境スポット紹介	R3.5.18		徳島新聞
三好市観光大使北山さんと祖谷ツアー	R3.5.28		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市の歴史的風致を代表する重要有形民俗文化財「祖谷のかずら橋」が図柄に採用され、大きなPRになった。
- ・市内歴史的風致エリアである祖谷地区において、東洋文化研究家アレックスカー氏がまだに知られていない魅力の紹介動画を作成しYouTubeで発信された。
- ・三好市観光大使 北山たけし氏とオンラインによるバスツアーが行われ、三好市のPRが行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。
状況を示す写真や資料等	

【西日本宝くじ図柄祖谷のかずら橋採用(徳島新聞 令和3年5月12日)】



【祖谷の秘境スポット紹介(徳島新聞 令和3年5月18日)】



【三好市観光大使北山さんと祖谷ツアー(徳島新聞 令和3年5月28日)】



評価軸⑤-3
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
児童、サギソウ植え付け	R3.6.9		徳島新聞
テラスや厨房整備	R3.6.10		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致エリアの池田地区において、県指定天然記念物「黒沢湿原」に代表され、また市の花でもある「サギソウ」の苗が地元小学生に植え付けされた。
 ・歴史的風致エリアの井川地区において、令和2年度整備工事を行った登録文化財「山下家別邸」を地元団体「辻まち活性化協議会」が交流拠点施設としての運営が再開された。施設内では産直市や手打ちそばやうどんが販売され、多くの来訪者が訪れ賑わいを見せた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【児童、サギソウ植え付け(徳島新聞令和3年6月9日)】

【テラスや厨房整備(徳島新聞令和3年6月10日)】

評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
3件国登録文化財	R3.7.17		徳島新聞
「三好百景」楽しんで	R3.8.28		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致エリアである祖谷地区において、有宮神社本殿が国登録文化財に令和3年10月17日に正式に登録された。これで市内の登録件数は57件となった。今回の登録に向け調査を行ったことで、神社の創建年代や改修年代が明らかになる等歴史の掘り起しにもなった。

・市内の魅力的な景色をインターネットの地図サービスで紹介する取組みが行われた。文化財をはじめさまざまな景色を紹介する当サービスによって、三好の良さを再発見するきっかけになった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【3件国登録文化財(徳島新聞 令和3年7月17日)】

3件国登録文化財

文化審議会(佐藤委員長)が、徳島市国府町芝原にある蔵珠院の茶亭「まい込み泉」を、三好市西谷山村蔵珠院の有宮神社本殿の財件を、国登録有形文化財にする。国登録有形文化財は88万所申請した。県内の国登録有形文化財(建築物)は2022件になる。

蔵珠院の茶亭「まい込み泉」は江戸時代末期以前に造られた。本堂西側に建つ茶亭は木造(おき)の平屋(81平方メートル)で、茶席を備える。茶亭水屋、控室、上の間の計3室がある。蔵珠院はスギヤナシ、アカマンナなど多様な木材を使い、天井や床の間の彫りが美しい。細部まで意匠を凝らしている。

まい込み泉は直径約6

有宮神社は室町時代末期の1549(天文18)年創建。本殿は1608(明治41)年に孝化のため再建された。屋敷の前面が古い「流石」(産石)で、随所に彫刻が施されている。後にある障子は人物像が透かし彫りで立派に仕上げられ、高い彫刻技法が見られる。(西谷郷)

国の有形文化財に登録される蔵珠院のまい込み泉(徳島市国府町芝原)(市教委提供)

【「三好百景」楽しんで(徳島新聞 令和3年8月28日)】

「三好百景」楽しんで

三好市地域おこし協力隊員の出陣式が28日、同市池田町新田山で、同市池田町中山が、市内の魅力的な景色をインターネットの地図サービスを使って紹介する「三好百景」を作った。移住者の目線で、写真や動画を撮りながら、Oの所の風景や町並みを紹介。市のホームページで公開しており、観光客や移住者には活用してほしい。

三好百景では、田中さん(移住者)が、池田町中山の風景や町並みを撮った。移住者の目線で、写真や動画を撮りながら、Oの所の風景や町並みを紹介。市のホームページで公開しており、観光客や移住者には活用してほしい。

ネット地図使い紹介

移住者目線

田中さんは、季節や地域によってさまざまな景色を撮り、それが三好市の良き、地元の人にも身近にある素晴らしい風景を再発見してほしいと話している。

山川幸

「三好百景」の画面。ポイントをクリックすると写真や説明文が出る

評価軸⑤-5
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
古文書など分野別紹介	R3.9.27		徳島新聞
三好の地質・地形紹介	R3.10.10		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致エリアである指谷地区にある市指定文化財「西岡家住宅」(平家屋敷民俗資料館)が、展示コーナーを新しくリニューアルオープンした。江戸時代の民俗資料や書物をジャンル分けし、説明文を添付するなど指谷の歴史を理解しやすい資料館となった。これまでは整理ができていなかったものもあったことから、所有者にとって文化財への意識向上に繋がっており、今後は地元小中学生への課外学習としての学びの場としても利用していただきたいと、教育学習の場としても一役担う。

・歴史的風致エリアである池田地区にある交流拠点施設「着蔵とこじん」において、三好の断崖や地層を学べる「とこじお」が開設された。道1回は専門員が常駐し来訪者に三好の大地や歴史について説明するなど、三好の魅力発信に貢献。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【古文書など分野別紹介 (徳島新聞 令和3年9月27日)】

三好市三好町山手町 文化財に輝きわたる。平家屋敷民俗資料館が、展示コーナーを新しくリニューアルオープンした。江戸時代の民俗資料や書物をジャンル分けし、説明文を添付するなど指谷の歴史を理解しやすい資料館となった。これまでは整理ができていなかったものもあったことから、所有者にとって文化財への意識向上に繋がっており、今後は地元小中学生への課外学習としての学びの場としても利用していただきたいと、教育学習の場としても一役担う。

R3.9.27
古文書など分野別紹介
説明文添付展示コーナー一新

三好市三好町山手町にある平家屋敷民俗資料館が、展示コーナーを新しくリニューアルオープンした。江戸時代の民俗資料や書物をジャンル分けし、説明文を添付するなど指谷の歴史を理解しやすい資料館となった。これまでは整理ができていなかったものもあったことから、所有者にとって文化財への意識向上に繋がっており、今後は地元小中学生への課外学習としての学びの場としても利用していただきたいと、教育学習の場としても一役担う。

R3.10.10
三好の地質・地形紹介

【三好の地質・地形紹介 (徳島新聞 令和3年10月10日)】

三好市三好町山手町にある平家屋敷民俗資料館が、展示コーナーを新しくリニューアルオープンした。江戸時代の民俗資料や書物をジャンル分けし、説明文を添付するなど指谷の歴史を理解しやすい資料館となった。これまでは整理ができていなかったものもあったことから、所有者にとって文化財への意識向上に繋がっており、今後は地元小中学生への課外学習としての学びの場としても利用していただきたいと、教育学習の場としても一役担う。

R3.10.10
三好の地質・地形紹介
ジオパーク「とこじお」開設

三好市三好町山手町にある平家屋敷民俗資料館が、展示コーナーを新しくリニューアルオープンした。江戸時代の民俗資料や書物をジャンル分けし、説明文を添付するなど指谷の歴史を理解しやすい資料館となった。これまでは整理ができていなかったものもあったことから、所有者にとって文化財への意識向上に繋がっており、今後は地元小中学生への課外学習としての学びの場としても利用していただきたいと、教育学習の場としても一役担う。

評価軸⑤-6
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
東祖谷の雑穀「味の箱船」登録	R3.11.23		徳島新聞
フクジュソウ群生「守る会」を結成	R3.11.28		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致エリアである祖谷地区において、地元住民グループで結成された「祖谷雑穀生産組合」が栽培する東祖谷の雑穀6種類が、食の世界遺産として提唱している「味の箱船」に登録された。希少な在来種を継承している点が評価されたことよって、今後も引き続き継承していくための活動に積極的に取り組みたいと話した。
 ・歴史的風致エリアである祖谷地区において、「中上地区の福寿草を守る会」が発足し重伝建落合地区展望地区として多くの観光客が訪れる中上地区で、福寿草を見て楽しんでいただくための取り組みが行われはじめた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【東祖谷の雑穀「味の箱船」登録(徳島新聞 令和3年11月23)】

【フクジュソウ群生「守る会」を結成(徳島新聞 令和3年11月28)】

評価軸⑥-1

その他(効果等)

項目

観光入込客数の推移

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・三好市歴史的風致維持向上計画【第1期】平成22年11月から平成30年3月31日・【第2期】平成31年4月1日～令和10年3月31日
 ・観光入込客数の推移として令和3年は昨年度に引き続きコロナ禍の影響により、各観光文化財施設の来訪者数は減少したが、祖谷の蔓橋はわずかに増加。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

下記の入込客数データは、祖谷地区にある主要観光文化財施設である。情報発信等も同様に行われており、総合案内パンフレットも充実しているが、入込客数の増減に差が大きく生じていることが課題である。単純に各施設の情報発信不足としては考えにくい。祖谷地区にくる観光客は「祖谷の蔓橋」も目的に来る方が大半を占めていることが下記データからわかる。ここからの観光客の動向調査を関係機関と連携して行い、原因を追究していく必要がある。

【主要観光文化財施設入込客数】

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R1	R2	R3
祖谷の蔓橋	303,189	331,634	327,562	301,193	348,528	339,035	357,697	360,601	360,352	161,365	173,170
内外国人観光客数	4,318	8,541	14,293	20,719	32,010	42,308	53,075	54,194	55,670	1,256	112
落合古民家宿泊者数	750	903	1,086	1,454	2,320	2,764	2,964	2,763	2,529	2,110	1,786
長岡家住宅	30	1,063	862	1,280	1,989	1,735	2,824	3,346	2,824	926	750
阿佐家住宅	—	—	—	—	—	—	1,388	993	885	613	413
東祖谷歴史民俗資料館	1,810	4,004	1,988	2,103	2,026	1,873	1,788	1,609	1,552	878	704
合 計	305,779	337,604	331,498	306,030	354,863	345,407	365,273	368,319	367,257	167,148	176,935

評価対象年度	令和3年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和3年度三好市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和4年5月10日(火)	
<p>(コメントの概要)</p> <p>●令和3年度の進捗評価及び総括評価に対する各委員からの主な意見</p> <p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID19感染対策から、書面会議はやむを得なかったと思いますが、今年度実施したように、屋外開催など、極力現場に近い状態で本協議会の開催が望ましいと思う。 ・市役所内での各担当部署での連携をスムーズにできたらいいと思う。 ・書面会議は時節柄適当だったと思う。 <p>【重点区域における良好な景観を形成する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点区域における良好な景観を形成する施策 ・重点区域における屋根の塗り替え事業は、修景効果が大きく、継続的に実施していくことが望まれる。 ・池田町や井川町の地域でも町なみの景観計画が進んでほしい。 ・途切れないように継続して進めてほしい。 <p>【歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財建造物の保存修理に携わる人材の技術力の向上と、保存修理事業のチェック体制の充実を求めます。チェック体制については、今回のような協議会の現地開催は有効だと感じた。 ・茅葺き屋根の取組について、地区保存会が中心に行っているものと思われませんが、活動の持続可能性を考えると、シラクチカズラ苗木づくりのような中学生を巻き込んだ取組や、上勝町で行っている地域外の人たちを巻き込む「茅葺き学校」のような取組を検討してほしい。 ・山下家別邸は地域住民で活用が行われ、今後またまち応援団他地域団体で2階も活用したいと思っているので、今後ご協力の程お願いしたい。真鍋家住宅は池田町本町通りのシンボルとなっており、観光施設としてもわりと稼働しているの、維持管理のための修理は必要だと思ふ。 ・歴史的建造物の公開は是非してほしい所だが、空き家だとしたら現実問題公開する状態にするための管理や清掃等が大変だと思うので、そちらの支援等も考えていくべき。 ・資材確保は高齢化も相まってどんどん難しくなることが予想される。かやぶき作業は地元業者が技術を得て行っているという話を聞いたが、材料の茅づくりもその一環として一連で作業し、全体できちんとした報酬を支払うなどするほか維持する方法はないのではないかと。 ・なかなか難しいと思うが、無電柱化はぜひとも実現させてほしい。車通りも多いのに、路駐も多いので危険な時がある。無電柱化とは少し違うが脇道のように少し離れたところに大きめの駐車場があればもっと利用者も増え、安心して散策ができるのではないかと。たばこ資料館用の駐車場は確保した方がいいと思う。 ・地域の小中学生に対して歴史的体験する機会を与えることは大変重要だと思う。今後も続けてほしい。 ・三好市観光協会とマチソラで-昨年度より電子スタンプラリーや周遊マップを作成しており、歴史的文化遺産とも連携したマップ作りができれば、より間口が広がるのではないかと。 ・池田町の真鍋家や井川町の山下家別邸は、町なみの中心的存在でもあるので、みんなが関わっていきやすいように、整備も進めてほしい。 ・祖谷のかずら橋の架けかえや、シラクチカズラの苗木、神代籾など、後継者不足の課題など問題もおおいですが、少しずつでも継続していい取り組みがあつていいと思う。小学校や中学校にもっと働きかけて、子供たちに自分たちの町のすばらしさを知って体験していくことは、とても大切なことだと思う。 ・各事業、よく頑張っていると思う。こうした幅のある積み重ねが未来につながる道になると思う。その中でもシラクチカズラは未来へのタイムマシンのように夢を感じさせられた。 <p>【文化財の保存又は活用に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民を対象とした文化財講座は良いと思いますが、門家のレベルアップのための講座も検討してほしい。 ・大変重要な取組だと思ふ。文化財の知識を持った人材は大変貴重であり、勉強会や学生に対する課外授業などは続けてい、市民に対しても知識を学ぶ機会をどんどん増やしていけばよい。 ・消防設備について、重要文化財の理解があいまいで重要性が浸透していない状況。なかなか難しいとは思いますが、貴重な歴史的建造物を守ることは三好市にとって大事な使命だと思いますので、普及啓発事業に取り組みでいただきたい。 <p>【効果・影響等に関する報道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道に取り上げられる取組が多いのは良いことだと思います。今度とも積極的な情報提供に努めてほしい。 ・三好市内で様々な活動をしているのがわかった。三好市役所での取り組みも多かったが、横連携ができればもっといいと思う。地域団体で活動している人は掛け持ちしている人も多く、もう少し市民活動に積極的に参加する人が増えるといいと思う。 ・報道の効果は大きい、効果のある期間が短い。長きに渡って報道されるような何か中心になるものがあればいいと思う。 <p>【その他(効果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖谷のかずら橋が観光目的と明らかになったことを受けて、原因の調査も必要ですが、むしろ、周遊型の観光商品開発が必要なのではないかと思ふ。ここ2年間の数字は、コロナ禍ということと、団体客よりも個人旅行者が大多数と考えられ、旅行者を頼るより、地域資源を活かした魅力的な周遊ルートづくりなどが有効と思われる。 ・コロナの影響は大きい。かずら橋の来客数が微増しているのは良いニュースだと思ふ。 <p>【その他のコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財に登録されるような古民家は改修するにも解体するにもかなりお金がかかり、特にまちなかにある古民家は荒れてしまっているものも多い。所有者の負担も大きく、次の世代に残らず解体してしまうという人が大半ではないかと思ふ。このままでは貴重な建築物が無くなってしまふという危機感がある。古民家を所有する方に対する補助やアドバイス等ができれば、少しこの流れも変わってくるのではないかと。 ・テレビ番組でこれからの観光について話していました。地方はまずウリが大事と書いていました。田舎はどこもよく似た感じになってしまうので、その中でもこれだけはというものを見つけること。そして移住につながるような地方創生的な要素も含んだ観光?なんかそんなことも書いていました。三好市は山あり川あり畑ありで歴史もある、とてもいいところだと思ふので、きついいウリがあると思ふ。 ・消滅していく集落が増えてきている。遅いかもかもしれないが各集落の文化歴史調査などを全市で一斉調査してみたいかと思ふ。(国勢調査みたいに項目を作って集落単位で集落の人に書き込んでもらう) 	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回3年ぶりの対面開催(現場での実施)は各委員さんから現場を確認できてわかりやすかったと好評評価を得ることができた。今後もこのやり方で行っていく。 ・ご指摘のように他課との連携がスムーズにできていない。本年度は連携の強化に取り組んでいく。 <p>【重点区域における良好な景観を形成する施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続事業は取り止めのないよう継続して行っていく。また続けていくことの効果から、他地区への景観対策事業へと繋がるよう継続して取り組んでいく。 <p>【歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅葺き屋根の確保について、現在作業員賃金をお支払して少量であるが確保を行っている。ただし、採取される方も高齢化が進んでいる状況であることから、本年度が体験イベントを計画している。このイベントが後に「茅葺き学校」のようなものになればと考えていく。 ・地元小中学生には、今後も引き続き各文化財を体験してもらえようイベント等を計画し進めていきたい。すぐには成果は表れないが、将来の担い手に繋がるよう郷土愛も育てていく。 <p>【文化財の保存又は活用に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財講座が令和3年度から行われ、本年度は応用編として開催される。受講生は40人ほどで中には専門の方もいて文化財に対する意識や考え方は確実に向上している。引き続き全体のレベルアップのために事業に取り組んでいく。 ・防災設備の設置や更新等については、近年全国的に大きな課題となっている。当市では市所有の建造物について火災報知器等の設置を積極的に進めてきた。令和3年度には個人所有の市指定文化財についても、まずは火災報知器から設置していただき防災への普及啓発を行ってきた。しかしながら著蔵寺のような規模の大きい物件については、個人負担も大きいため更新等が進んでいないのが現状である。コメントにあるように貴重な歴史的建造物は守っていくことが使命であるので、所有者をはじめ国や県と相談しながら防災設備の整備に取り組んでいきたい。 <p>【効果・影響等に関する報道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様に各事業を積極的に進めていくことが直接的に効果が出てくると考えられるので、引き続き歴史的維持向上事業に取り組んでいく。 <p>【その他(効果等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖谷の蔓橋を拠点とした周遊型の観光開発は現在観光課で作られ、わずかであるが周辺の文化財や観光にも効果が出てきている。コロナ禍であるため、大きな成果はまだ見えていない。もしばらくは様子を見ながら修正等をかけていく必要があると考えている。 	